

第4学年 学級活動（情報モラル）学習指導案

1 単 元 相手に正しく伝わるメールの書き方を考えよう。

2 本時の指導


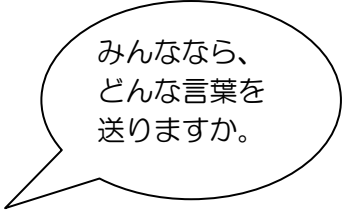
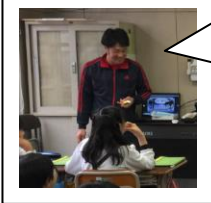
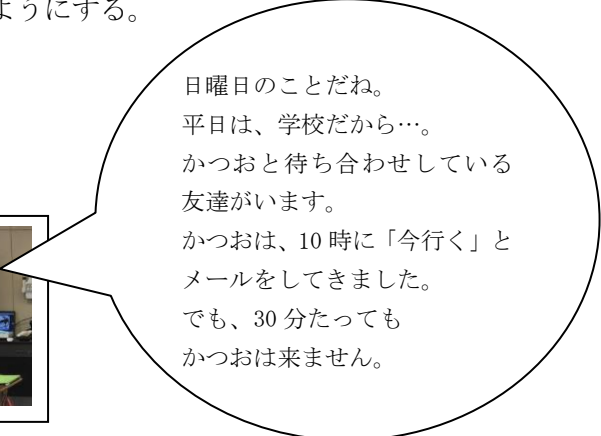
(1) 目 標

- 話し言葉と書き言葉の違いに興味をもち、相手の気持ちを考えて表現しようとしている。
- メールの書き方を比較し、思いやりのある適切な書き方を考える。

(2) 使用した映像教材

「なんて返事しようかな」（ネット社会の歩き方）

(3) 展 開

	主な学習活動	指導上の留意点	評 価
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どんな時にメールを送るか」日頃の生活をふり返る。 ○ 「なんて返事しようかな」（ネット社会の歩き方）を視聴することにより、メッセージの送り手と受け手はどのように感じたかを考える。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の生活を想起させる。 ● 「なんて返事しようかな」を視聴する（場面⑩で一時停止）ことにより、言葉の伝え方の難しさに気付くようにする。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をつかむことができたか。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">相手に伝わるぴったりのメールの言葉を考えよう。</div>			
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例①について、どちらのメールが適切か選び、選んだ理由をワークシートに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（事例①） かつおと朝 10 時に待ち合わせ。 10 時ごろ「今行く！」とメールがあったのに、もう 10 時半です。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例①を説明して、状況を把握できるようにする。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

かつおと待ち合わせをしているますおは、このように返事をしました。
「はやくしろよ。先行くからな。ムカツク！」

かつおと待ち合わせをしているなみへいは、このように返事をしました。

「もう 10 時半だけど、どうした？ ムリだったら、メールください。45 分になったら、先に行きます。」

- 考えを発表する。

ますおの「ムカツク！」は、相手が傷つくと思います。

- 事例②について、どちらのメールが適切か選び、選んだ理由をワークシートに書く。

(事例②)

かつおから「**今度の日曜日にサッカーしようよ!**」とさそわれました。

かつおに誘われたますおは、このように返事をしました。

「買い物行くから、どうしようかな〜。そういやあ、この前やった時、OOのシュート、よくとめたよな。次はがんばるぞ〜」

かつおに誘われたなみへいは、このように返事をしました。

「ごめん。家族と買い物に行く予定があるんだ。何時からやる？3時くらいからなら行けそうだけど…」

- 友達とどちらのメールが適切か話し合う。

ますおは、行くか行かないかわかりにくい。

- どちらのメールが適切か、理由をもとに説明するように助言する。
- 相手の意図を正しく読んで返信を意識するようにする。



なみへいのメールは、やさしい言葉だと思います。

- 事例②を説明して、状況を把握できるようにする。



● 根拠を明確にして、適切なメールを選ぶことができたか。

- どちらのメールが適切か、理由をもとに説明するように助言する。



なみへいは、「ごめん。」とあやまっている。

なみへいは、時間や予定について書いてるのでわかりやすい。

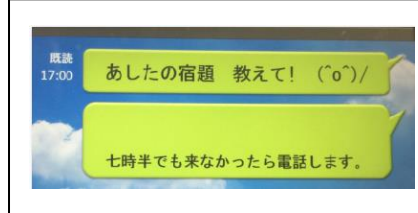
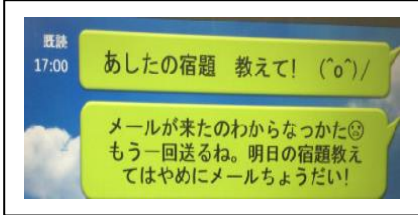
○ 事例③について、メールの書き方を考え、タブレットに書く。

(事例③)
明日の宿題がわからないので、メールを送ったけど、なかなか返事が来ない…。

短い言葉だから、
難しいなあ。



(児童が考えたメール)

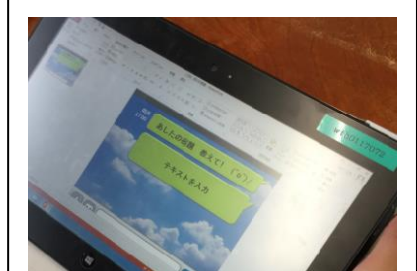


○ メールで伝えたいことが正しく相手に伝わったか話し合う。

● 事例③を説明して、状況を把握できるようにする。

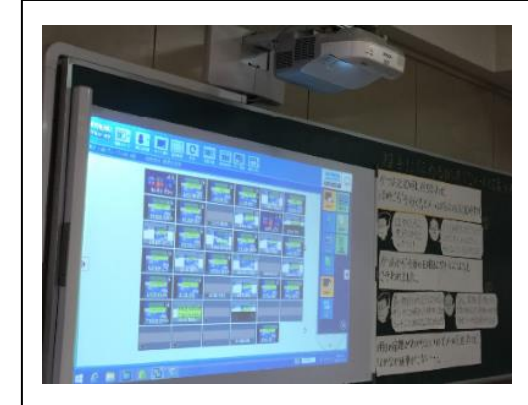
わかめさんが学校から帰ってきたのは、夕方の5時です。
明日の宿題をしようと思ったけど、連絡帳を置いてきてしまいました。明日の宿題がわかりません。すぐに、なかよしの堀川君に「宿題、教えて。」とメールをしました。
夜7時になってもメールはきません。いつもなら、すぐに返信がくるのに。
もう一度、メールを送ることにしました。

● タブレット端末を活用し、疑似体験ができるようにする。



※ プレゼンテーションソフトで作成した自作教材

● 自分がメールの受け手なら、どのように感じるか考えるように助言する。






● いろいろな書き方を比較し、適切なメールの書き方を考えるようにする。

・適切なメールを書くことができたか。

・いろいろなメールの書き方を比較し、適切なメールについて考えることができたか。

展
開

<p>展 開</p>	<p>いつもなら、すぐに返事をくれるのに、返事がないから、心配していることを伝えるよ。</p>  <p>○ 全体で交流する。</p> 	<p>相手が忙しいかもしれないから、もう一度同じ内容のメールを送るよ。</p> <p>早く宿題を知りたいから、「早く返事をください。」とメールするな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書き方によって、相手の感じ方が違うことに気付くようにする。 ● 根拠を明確にして発表するようにする。 	
<p>まとめ</p>	<p>○ メールを書くときに大切なことについてまとめる。 <u>児童から出た発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな言葉を使う。 ・やさしい言葉を使う。 ・わかりやすく、正しく伝える。 ・相手の気持ちを考える。 <p>○ 「なんて返事しようかな」(場面⑩の続き)を視聴し、自分ならどのようなメールを送るかを考える。 <u>ゲームのコツを知っていることを自慢されたときの返信メール</u></p> <p>ああ、そうなんですか。じゃあ、ぼくは、コツをつかめてないんですね。</p> <p>○ 本時の学習の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな書き方を比較し、適切なメールの書き方を考えるようにする。 ● 「メールを書くときに大切なこと」をもとに、考えるようにする。  <p>へえ、そうなんだ。ぼくは、クリアしてないから、もうちょっとくわしく教えてくれない？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メールは、上手に使える、よりよいコミュニケーションをとれる便利なツールであることを押さえる。 	<p>・メールを書くときに大切なことについて考え、今後の生活に生かそうとしているか。</p>

【板書】

電子黒板

相手に伝わるか、丁寧にメールの言葉を考えてみよう。

かつおと10時に待ち合わせ。
10時ごろ「今行く!」とメールがあつたのもう10時半だけ

「はやくしろよ、先行くからな。ムカツク!」

「もう10時半だけどうした? ムリだったらメールください。行かなくなったら先にいきますよ。」

メールの書き方で
気をつけること。

さすっけない、心配しな
相手の気持ちを考える

やさしい言葉、下ゆい
気持ちのいい言葉

分かりやすく伝える
こまかく
(優しく)

かつおから「今度の日曜日にサッカーしようよ」と
さそわれました。

「買い物行くから、どうしようかな? ショップやあの前やった時中にぶつくとめたよな。次はがんばるぞ〜」

「ごめん、家族と買い物に行く予定があるんだ。何時から帰る? 三時くらいなら行けそうだけど〜」

「明日の宿題がわからないのでメールを送ってけど
なかなか返事がこない...」

【ワークシート】

どちらのメール? 名前()

★ 次の場面では、どちらのメールがさわしいですか、○をしましょう。...
そう思った理由も書きましょう。...

(場面1)...

友達と10時に待ち合わせ。10時ごろ「今行く!」とメールがあつたのに、もう10時半です。...

「今行く!」

「ますお」 ←-----→ 「かつお」

「ますお」 ←-----→ 「かつお」

「はやくしろよ、先行くからな。ムカツク!」

「今行く!」

「なみへい」 ←-----→ 「かつお」

「なみへい」 ←-----→ 「かつお」

「もう10時半だけど、どうした? ムリだったら、メールください。四十五分になったら先にいきます。」

() ますお () なみへい

理由:

(場面2)...

友達から「今度の日曜日にサッカーしよう」とさそわれました。...

「今度の日曜日にサッカーしよう!」

「ますお」 ←-----→ 「かつお」

「ますお」 ←-----→ 「かつお」

「買い物行くから、どうしようかな〜。そうよ、あの前やった時、OOのシュート、よくとめたよな。次はがんばるぞ〜」

「今度の日曜日にサッカーしよう!」

「なみへい」 ←-----→ 「かつお」

「なみへい」 ←-----→ 「かつお」

「ごめん、家族と買い物に行く予定があるんだ。何時から帰る? 三時くらいなら行けそうだけど〜」

() ますお () なみへい

理由:

メールを書くときに大切なこと

- ★ 授業の導入でネット教材「なんて返事しようかな」(ネット社会の歩き方)を活用した。携帯ゲーム機の中での顔が見えない相手とのメッセージのやりとりの場面である。この事例から、本時の課題をつかむようにした。
- ★ この学習を通して、メールの書き方を考える。メールの文章表現は、受け手を想定して書くことが大切である。また、字数が制限されている場合があり、情報の正確さや誤解のない表現を心がけることも大切である。
- ★ タブレット端末を使い、一人ひとりがメールを書く擬似体験を行う。メールの書き方を考え、友達と話し合うワークショップ形式の学習を通して、メールの受け手や送り手の感じ方は多様であることに気付かせたい。
- ★ いろいろな場面を想定してメールの書き方を考えることを通して、日常の友達とのコミュニケーションを振り返るきっかけにしたい。そして、上手に使えば、メールは便利なコミュニケーションのツールであることを確認したい。